

第2回学校づくりアンケートへのご協力、ありがとうございました。結果をお知らせします。先日の学校だよりでも記載したのですが、子育てや教育をする上で「子どもの自立」はたいへん大切なことです。教職員もそのような視点で今回の結果を受け止めていきたいと思ひます。保護者の皆様にもぜひ、「子どもの自立」を意識しながら結果を見ていただけると幸いです。そして今後も共に子どもたちの成長に関わっていききたいと思ひます。

児童

よくできている

だいたいできている

あまりできていない

できていない

①	自分から進んで学習している。	38	48	13	
②	学校の学習はよく分かっている。	49	45	6	
③	最後までしっかり話を聞いている。	44	47	8	
④	相手に分かるように説明できている。	28	51	19	
⑤	進んで読書をしている。	32	29	24	
⑥	楽しく学校生活を送っている。	60	32	7	
⑦	進んであいさつができています。	43	35	17	
⑧	友だちを大切にしている。	72	26	1	
⑨	先生や友だちなど周りの人に対して正しい言葉づかいで話している。	41	45	12	
⑩	学校の約束を守って生活している。	42	51	6	
⑪	自分にはいいところがあると思う。	32	40	17	
⑫	早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができています。	34	43	20	
⑬	難しいことも最後までやり切っている。	47	39	11	
⑭	外遊びなど進んで運動している。	42	30	21	
⑮	係や当番の仕事を進んでできている。	57	36	6	
⑯	忘れ物なく学習の準備ができています。	32	53	13	
⑰	困ったことがあれば周りの人に相談している。	42	38	16	
⑱	家で自分の役割や手伝いをしっかりしている。	38	44	15	

児童⑯忘れ物なく学習の準備ができています。

肯定的な回答は前期と同程度の85%だったものの、「よくできている」の回答は前期に比べ7%減少していました。自信をもって「できている」と回答できないと感じている子が増えたようです。自分に必要な物の準備をすることは、自立した人となっていく上でももちろん重要なことです。小学校では、宿題のプリントやノート、体育服、給食袋、タブレット端末などを忘れてしまうことがあるのではないのでしょうか。物の準備ができていない状態のとき、活動への前向きな気持ちがちにくくなるときもあります。大人もそういうことがあるものです。気持ちよく前向きに活動するためにも学習の準備について今一度見直していきたいものです。

保護者⑮お子さんが、忘れ物なく、学習の準備ができるように声をかけている。

保護者の方の回答を見てみますと、肯定的な回答が86%と前期に比べて6%減少しています。保護者の皆さんもお忙しい中、意識して声をかけていただいていた新学期に比べて、少しずつ声かけが少なくなっているのかもしれませんが。声をかける回数が多ければいいというわけではなく、お子さんの様子に応じて関わり方を変化させていくことも大切なのではないかと思います。また、自分の力で忘れ物なく準備できるように、

・持ち物リストを作っている ・いつやるか決めている ・場所を整えている

などの工夫をされているご家庭もきっとあるのではないのでしょうか。

⑦進んで読書をしている。

前期同様、児童・保護者アンケート共に肯定的な回答が他の項目に比べて少なかったのが、読書に関わる項目です。「大人もゆっくりと読書に親しむ時間がない…」そんなふうに感じている方も多いのではないのでしょうか。

豊かな心を育んだり、想像力を働かせたりする読書を子ども達にもぜひたくさん味わってほしいものです。教職員からも、「学級文庫を充実させたい」、「学校図書館を活用する時間を増やしたい」、「子どもが読みたい本を充実させたい」といった声が上がっています。

保護者



①	お子さんに家庭学習の習慣がつくよう、音読を聞いたり、学習環境を整えたりしている。	18%	63%	18%	
②	お子さんが学習をよく分かっているかどうか把握している。	15%	71%	13%	
③	お子さんに分かるように丁寧に話している。	13%	74%	13%	
④	お子さんの話を、最後までしっかり聞いている。	22%	66%	12%	
⑤	お子さんに読書の習慣がつくよう、本の話題を話したり、読書環境を整えたりしている。	14%	40%	41%	
⑥	お子さんは、楽しく学校生活が送れている。	35%	54%	8%	
⑦	お子さんが、進んであいさつができるように声をかけている。	28%	61%	11%	
⑧	お子さんの友だちの関係を把握し、望ましい関係について話している。	20%	73%	6%	
⑨	お子さんが正しい言葉づかいで話せるように、声をかけたり、話したりしている。	19%	73%	9%	
⑩	お子さんに、決まりを守る大切さについて話し、実行させている。	27%	67%	5%	
⑪	お子さんのいいところを積極的に伝えている。	27%	61%	11%	
⑫	お子さんが、「早寝・早起き・朝ご飯」など、規則正しいせいがかつができるよう声かけをしている。	27%	59%	13%	
⑬	お子さんが難しいことも最後までやり切れるように励ましている。	18%	71%	10%	
⑭	お子さんに運動や健康に過ごすことの大切さについて話している。	25%	65%	10%	
⑮	お子さんが、忘れ物なく、学習の準備ができるように声をかけている。	18%	68%	13%	
⑯	お子さんが困っていることがあるとき、じっくりと話を聞いている。	31%	63%	6%	
⑰	お子さんのことについて、教職員に気軽に質問や相談ができる。	20%	62%	15%	
⑱	お子さんに家での役割（手伝い）を決め、実行できるように励ましている。	12%	54%	31%	

保護者⑱お子さんに家での役割（手伝い）を決め、実行できるように励ましている。

肯定的な回答が66%でした。これは前期に比べ6%ほど上昇しています。ご家庭で、お子さんの役割を位置付けて継続的に励ましていくことは、自立心を育てるためにたいへん大切なことだと思います。家庭でのそのような関わりが増えてきていることに心強く感じます。また、お子さんがしっかりと実行できたとき、続けてできたときなどに「しっかりできるようになったね」、「ありがとう助かっているよ」などのお声かけをすることで、お子さんが「やった甲斐があった」という思いをもち、自己肯定感を感じることにつながるのではないかと思います。

学校でも、様々な活動の中で子ども達に役割を任せ、その役割を果たそうとする過程を積極的に励まし、認めて、感謝の言葉をかけていきたいと思います。

児童⑪「自分にはいいところがあると思う」

肯定的な回答をしたのは、前期と同程度の70%です。ご家庭でも、学校でも役割や手伝いについて上記のような認められるやりとりを子ども達と積み重ねることによって、肯定的な回答が増えていくことにつながってほしいと期待します。